女性部だより

大阪労連女性部

2025年春闘討論集会 第61回女性部委員会

童謡「早春賦」の歌詞さながらの2月6日（木）午後6時30分から国労大阪会館にて第61回女性部委員会が開催されました。

労連からの要請は4人でしたが、当日インフルエンザに阻まれ府本部女性部からは3人の参加となりました。開会挨拶のあと全労連女性部事務局長寺岡さんの「女性差別撤廃委員会日本審査報告について」のズームによるミニ学習会が開かれました。CEDAWの審議にむけた取り組みの報告・活動等。国内では、男女賃金格差・職場における男女平等、ハラスメントのない社会の実現など多岐に亘る項目（テーマ）での報告でした。

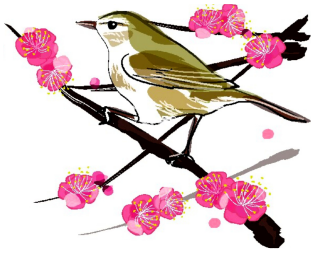
厳しい現状を報告する労連女性部書記長

感想

●大阪労連女性部の春闘討論集会&女性部委員会に現役以来久しぶりに参加しました。「女性差別撤廃委員会日本審査会報告について」と題して、国連の報告と私達の運動で差別是正が実現していることが報告されました。

現役の頃を思い出しながら4組織からの発言を聞きましたが、日本の労働実態は世界から大きく立ち遅れていることを感じました。OB・OGの私達にも出来ることをと署名用紙を持ち帰り、拡げています。

F・I



当日は日本海側では大雪が降り大阪も大変寒い日でした。年金者組合からも数人が参加しました。もちろん現役の人たちは仕事終了後夜に集まる訳ですから頭が下がります。

先ずミニ学習会「女性差別撤廃委員会日本審査報告」について、全労連女性部事務局長の寺園さんのオンラインによるILO総会で議論されたこと。女性差別撤廃条約選択議定書？批准後の流れなど「私達の意見や声を国連女性差別撤廃条約委員会で直接届ける、現状を訴える（発言持ち時間50秒）という厳しい現実。私にとっては雲の上の話しでしたが　実際に頑張っている人の苦労を知る事が出来ました。次に大阪を巡る情勢では、岸和田教組、大阪私学教組、自治労連、保健センター等から厳しい現場の実情が訴えられました。とにかく私の出来ることは署名集め、そして3月7日（金）国際女性デー大阪集会に参加しようと思いました。

N・K

寄せられた投稿

私たちの年金の掛金が核兵器製造企業に投資されています

驚きました。核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAM）とオランダの平和団体「PAX」が2月18日、核兵器製造企業とこれらの企業に投資する金融機関に関する報告書を発表したといいます。この金融機関の中に、日本の年金基金を運用する年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）も約29億ドルの投資を行っていると指摘したというのです。

私たちは、年金切り下げを取り消し裁判で「年金切り下げをせず巨額になった年金積立金を取り崩すべきだ」と主張しましたが、裁判所までも「現役世代の保険料の税負担能力は減少する一方で、支給すべき年金の総額は増大することが予想され」の一言で取り崩しの道を選択しなかった事が不合理まではいえないとして、原告の主張を切り捨てています。

世界に眼を転ずれば、2021年に核兵器禁止条約が発効して以来、投資額は全体で23％に減少する程に「核兵器禁止条約の存在」は核戦争の道への抑止力になっているというのです。融資を行うトップ10には米国企業が占めていますが、ことにもあろうに「ヒロシマ・ナガサキ」の日本の3銀行が名を連ねているのも驚きでした。みずほフィナンシャル（約114億ドル）、三井住友銀行（約104億ドル）、三菱UFJ銀行（約90億ドル）というのです。

この事態に年金者組合は物申さなくてはいけないと思うのです。いかがですか。

渡辺　和恵

お知らせ

第9回女性部委員会
令和7年3月19日13時30分～グリーン会館6階
宣伝行動
午後12時45分～13時15分
「天満天神繁昌亭」
上方落語鑑賞
多数のお申し込み有難うございました。

★2月21日（金）に3月15日（土）のノ切を待たず定員に達しましたので誠に申し訳ありませんが募集を打ち切り、各支部には、本部PCからメールにて連絡をさせて頂きました。

文化行楽部より